ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学　所属：健康栄養学部　名前：中出　江美子　作成日：2024 年 1 月 10 日

１．教育の責任

管理栄養士は、医療、福祉、スポーツ、学校、企業など幅広い分野で社会に貢献している。学生に使命感と役割を理解させ、食品衛生や栄養学の基本的な知識と技術を教えることにとどまらず、課題を発見し解決する力の育成、コミュニケーション能力の向上、他職種との連携を円滑に行える力を身につけさせることも重要であると考える。管理栄養士養成課程を通じて、健康と栄養の専門家としての自信を持たせ、積極的に社会の課題解決に貢献する人材の輩出を目指します。

２．教育の理念

管理栄養士養成課程の教育理念は、学生が人々の健康を支える専門家としての使命感と尊厳を自覚し、豊かな教養、専門的知識、問題解決能力を備えた人材を育成することである。そのため、知識を単に学ぶだけでなく、それを活用して自ら考え行動できる力を養うことを重視する。

もちろん「管理栄養士国家試験」合格を目標とした学びを支援する。

３．教育の方法

「食品衛生学」「食の安全・福祉の法律概論」では、国家試験合格のための知識を中心に授業を行っているが、学生が興味を持ちやすいように、今現在、社会で起こっている食品衛生に関する問題を取り入れるようにしている。また、ネット学習ができる環境であるエルキャンパスを利用して、授業ごとに重要点についての課題実施を義務付けている。

「食品衛生学実験」においては、授業で学んだ内容を実験で再確認できるような内容にしている。さらに、実社会で栄養士として活用できるような実験を盛り込んでいる。

４．教育の成果

課題レポートによると、食中毒菌の生態や食品中の化学物質について、実験を通じて理解が深まったとの感想が寄せられている。

食品衛生についての話題は事欠かないため、授業においてもニュース等を盛り込むことで、栄養の専門家としてどのように社会で生じる問題に取り組んでいくべきかを考える機会になっていると思われる。

５．改善への努力と今後の目標

国家試験においては、近年、知識の丸暗記だけでは、解答に結びつかない問題が多数出題されている。

実社会においても、単なる知識だけではなく、自ら思考し問題解決に結びつける能力が求められている。原因から導き出される結果に繋がる工程が理解できるような授業を心がけたい。

【添付資料】

各授業スライド（非公開）